

平成27年度 長野県上田高等学校全日制 終業式 校長講話

平成28年（2016年）3月24日

みなさん、こんにちは。

平成27年度も、全員が登校するのは今日が最後になりました。

今年度1年間を振り返ると、様々なことがありました。

昨年3月31日、前年度の最終日に、文部科学省からスーパーグローバルハイスクールの指定が決まったという連絡が入りました。とても嬉しい日でした。

入学式、1年生が入学して来ました。毎年写真を撮っている写真屋さんによると、古城の門の前の桜が入学式に咲いていたのは、この20年間で2回目という珍しいことだそうで、新入生を祝福するようなそんなめでたい日にクラス写真を撮影することができました。

夏、8月15日は70回目の終戦記念日でした。第2次世界大戦が終わってからこの70年間、日本は1度もどこも戦争をしてきませんでした。平和というのはすべての物事の一番の土台にあるものです。こうして全校が集まったり、毎日勉強したり、班活動をしたり、友だちと楽しく話をしたりといった、今やれていること、将来やりたいと思っていることが、戦争が始まった途端にできなくなります。若者は戦争に駆り出されます。私を含めた大人も、そして皆さんも、平和というのは、これからもずっと、何としてでも守り続けていかなければならないことの最たるものだと思っています。

年が明けてNHK大河ドラマ『真田丸』の放送が始まりました。関連して古城の門や校歌・応援歌が取り上げられ、様々なメディアが取材に来て、生徒の皆さんもテレビや新聞などに大勢登場しました。今日も、民放ですが、取材に来ていました。

そして3月、3年生が卒業していきました。

1年最後の終業式の今日、3年生は既に卒業し、今日ここにいるのは1年生と2年生だけです。

1年前を思い出してください。

1年生は、去年の今頃、中学生でした。そして4月に、高校はどんなところなのだろうかと、期待と不安を抱いて入学してきたと思いますが、それからもう1年が経ちました。

2年生は4月から3年生になります。去年の今頃は、高校に入学し、一番下の学年で無我夢中で過ごしてきて、ああ2年生になるんだなあくらいに思っていたと思いますが、今年は今日の時点で高校生活は既に1年を切っていますし、4月には一番上の学年になり、いろいろなことを中心になって仕切っていく立場にもなります。

どうでしょう。上田高校に入る前に、こんなふうになりたい、こうなるといいなと思っていたような高校生活が送れているでしょうか。抱いていた夢や理想に日々近づいているでしょうか。

理想と現実が程遠いという人もいるでしょうし、一方で、入学前の予想を上回ってかなりいい感じの高校生活を送れているという人もいるかもしれません。

日本の1年を通して見てみると、何度か「節目」と呼べるようなものがあります。

例えば1年の終わり、大晦日から元日になる時もその1つで、初日の出を拝んだり、初詣に行ったりして、自分も頑張りますからと、お天道様や神社にお願いをし、自分の生活を見直したりします。

この春休みも、高校生にとってはそういう意味ではとても大事な節目で、流れるように過ぎていく日々の中で、変えたい、変えよう、と思ってもなかなかできなかった生活を見直して、自分がこうありたいと思うような1日のサイクルを作り、4月から理想的ないいスタートを切るためには、この春休みの過ごし方はとても重要で、ぜひいい春休みにしてほしいと思っています。

高校生活も人生も、例えて言えばキャンパスに絵を描くようなものです。

その絵は、他の人と比較して上手いとか下手とかいうことは重要なことではありません。一番大切なのは、自分自身がどんな絵を描きたいのかということです。

こういう絵を描きたいと思って絵筆をとる。悩んで筆が止まることもあれば、疲れて休むこともあるでしょう。途中で、描こうと思っていた絵と違うと感じ、最初から描き直すこともあるかもしれません。ただ、全員に一つだけ共通して言えることは、「これが自分の絵だ」というようなものを本気で描こうと思ったら、自分で絵筆をとり、自分で最後まで完成させるしかないということです。

高校生活も人生もキャンパスに絵を描くようなものだと言いました。

1色の絵を描こうと思う人はモノトーンの絵を描けばいいし、いくつかの色で描きたい人は何色かの絵を描けばいい。本校としては「文武両道」と生徒に言ってきているので、できれば何色かの色で絵が描かれている方がいいけれども、最終的にはそれも皆さんが自分で決めることです。

ただし、中学生の時に描こうと思った絵と、高校生の今描きたいと思っている絵とでは、自然とその中身も求めるレベルも違っているはずですよ。求めるレベル、精度が上がれば、筆を持つ時間、絵に掛ける時間を増やし、同時にその質も上げなければ、自分が描きたい絵は描けません。

皆さんが残り1年、あるいは2年、高校生活に関してどんな絵を描きたいのか、さらにその先に続く人生でどんな絵を描きたいのか、そのために、この春休み、しっかり考え、今日から絵筆を持つ時間を必要なだけ確保するように生活のリズムを変えてほしいと思っています。

最後に、今日の話のまとめとして、皆さんから答えを聞きたいと思います。ちょっと古いですが、「いつやるの？」と訊くので、皆さんの答えを聞かせてください。いいですか。

「いつやるの？」（生徒：「いまでしょ！」）

ありがとうございます。また4月に会いましょう。がんばってください。